

2022年 地区交流ボウリング大会 ウィズコロナ仕様で2年ぶりの集合開催!!

川崎地域連合は、6月2日（木）、川崎グラウンドボウルにおいて、地域の連携強化と親睦を深めることを目的とした、恒例の「地区交流ボウリング大会」を集合型で2年ぶりに開催しました。

当日はボウリング場の1、2階の全レーンを貸し切り、24組96名が参加しました。

今大会はウィズコロナ仕様として、いくつかの工夫も紹介したいと思います。

議長あいさつ

冒頭、渡部議長からは、「コロナ禍で集合型のイベントが減っている。それぞれの労組もご苦労されていると思うが、工夫を凝らしながら労働組合運動を進めてほしい。また、久しぶりの交流の機会なので十分に楽しんでほしい」と挨拶しました。



ボウリング場内から議長挨拶を中継

始球式

始球式は、全館貸し切りのため、渡部議長は1階（写真左）、村松議長代行（右）が2階を担当して司会の合図に合わせ同時に行いました。



プレー

密を避けるという考え方から、1レーンは通常4名のところ2名にして、2レーンを1組というソーシャルディスタンス構成にしました。会場は広く使え、時間短縮にもつながるとあって、評判は上々でした。

表彰式

集合型の表彰式は行わず、後日賞品を発送することにして、密の回避、時間短縮を達成しました。



ボウリング場の全モニターに議長挨拶の中継を行い1、2階の同時視聴を実施



優勝した幸地区のチーム